



右頁 / リビングスペースからダイニングキッチンを見る。仕切りに採用した格子が、向こう側をほどよく見せ、広がりを感じさせる 左上 / 玄関を入るとご主人の趣味のスキムボードが正面に。「玄関もギャラリーのようにしたい」という要望を受けて照明にも配慮 左下 / 階段から見下ろすと途中に本棚 右 / ビルトインガレージのあるK邸。2階の格子部分は中庭になっていてリビングに光と風を届ける



● EXAMPLE REPORT DETAIL HOME

新潟市中央区 K邸 | 木造軸組工法 | 工期120日 | フリープラン

お子さんの小学校入学を控えて、家づくりに動き始めたK夫妻。「家のことを真剣に考えたことがなかった」で、初めはハウスメーカー以外の選択肢は思いつかなかった」とご主人は言う。ただ、夫妻ともにデザインやアートが好きで「ありきたりの家はいらない」と漠然と思っていた。そんな折、住宅雑誌で見かけたのがディテールホムの広告。「自由設計」そして「適正価格」という文字に引かれて完成見学会へ行ったら、二人は「ありきたりでない家に出合った。「個人的でデザインがいい、というのが第一印象でした。そして、担当してくれた金子さんがよく話を聞いてくださって、相談しやすそうだなと思えました」とご主人は振り返る。好きなテイストがはっきりしていて「好みの空間をつくりたい」と思っていた二人にとって、「デザイン力は重要なポイントだった。ただし、デザイン性だけでなく、ほかにもビルダーはあるとも思ったという。そんな中でディテールホームを選んだのは「設計者がつくりたい家をつくるのではなく、こちらの話を聞き入れてくれて一緒につくってほしい」ということ。そしてもう一つ、いい提案をしてくださいましたから」と言う。

「ご希望をうかがった上で、2割ほど味付けをして提案します。その中で、デザインと価格、デザインと使いやすさをバランス良く組み合わせるのが私たちのやり方」とは金子康志さん。K邸では、そんなバランス感が、至るところで発揮されている。

デザインだけではない、ギャラリーハウス

玄関ホールに、階段の途中に、絵を飾るスペースを設けたK邸。アンティークモダンで統一した住まいには、暮らしやすさも確保されている。

DETAIL HOME / 坂井建設株式会社

二人が求めたイメージは、一言でいえばアンティークモダン。このテイストを基調に、キッチンを中心にしたいということ、奥さまからはモノを出しっぱなしにしないでほしいような収納力が求められた。さらに、ビルトインガレージや、家でBQをしたいという要望を受け、ディテールホームは2階にLDKと中庭を設けるプランを提案。K夫妻は「2階リビングなら採光もいいし、ちょっと変わっているのもいい」と即座に受け入れ、詳細が詰められていった。

「一緒に家をつくっていきそう」とK夫妻が予感した通り、ビルダーと施主は、積極的に案を出し合っただけで進んだ。たとえばリビングと階段を隔てる格子のパーテーション。「なるべく広々とオープンにしたい」というご主人に対して「見えすぎるのはちょっと」と奥さま。二人の意見を聞いて、視線をほどよく遮りながら広がりを感じさせる格子を提案した。「ここが壁だったら空間も分断されて、ずいぶん狭い印象になっていたと思います」と満足の様子だ。

奥さまが希望した収納については、大容量を確保しながらも空間全体の雰囲気を損なわない工夫がなされている。造作したTVボードや本棚に収納を兼ねさせたり、

キッチン収納は、冷蔵庫まで隠しつつ天井まで戸を伸ばし、壁のように見せて空間に融け込ませたり。デザインと機能を両立させ、日々の暮らしをちゃんと考えて設計する、ディテールホームのバランスの良さが見えるだろう。

一方、ご主人からの提案に、金子さんが感心した局面もあった。それは階段途中に設けられた本棚。「2階のリビングに行くのに、ただ上るだけではつまらない」と、欲しかった本棚を置くことにしたのだ。「見、無駄に思える空間があることで、住まいはずっと楽しくなる」と金子さんは、Kさんの発想を手放しで誉める。

引っ越して2ヶ月、お子さんは毎日、部屋中を駆け回っているという。そんな姿を見ながら「一番うれしかったのは、お子さんのアトピーが治まってきたと聞いたことです」と金子さんは言う。K夫妻が「モノを出さないで暮らしたい」と言ったのには、アレルゲンを減らしたい切実な思いがあるからとも聞き、真剣に取り組んだ。「家づくりを単なるモノづくりと考えると、お住まいになる方はもちろん、訪れる方にも喜びや感動を与えられるような場所をつくってほしい」と、それが世界でたった一つの家になるのだろう。

素材と色、デザインでアンティークモダンを表現

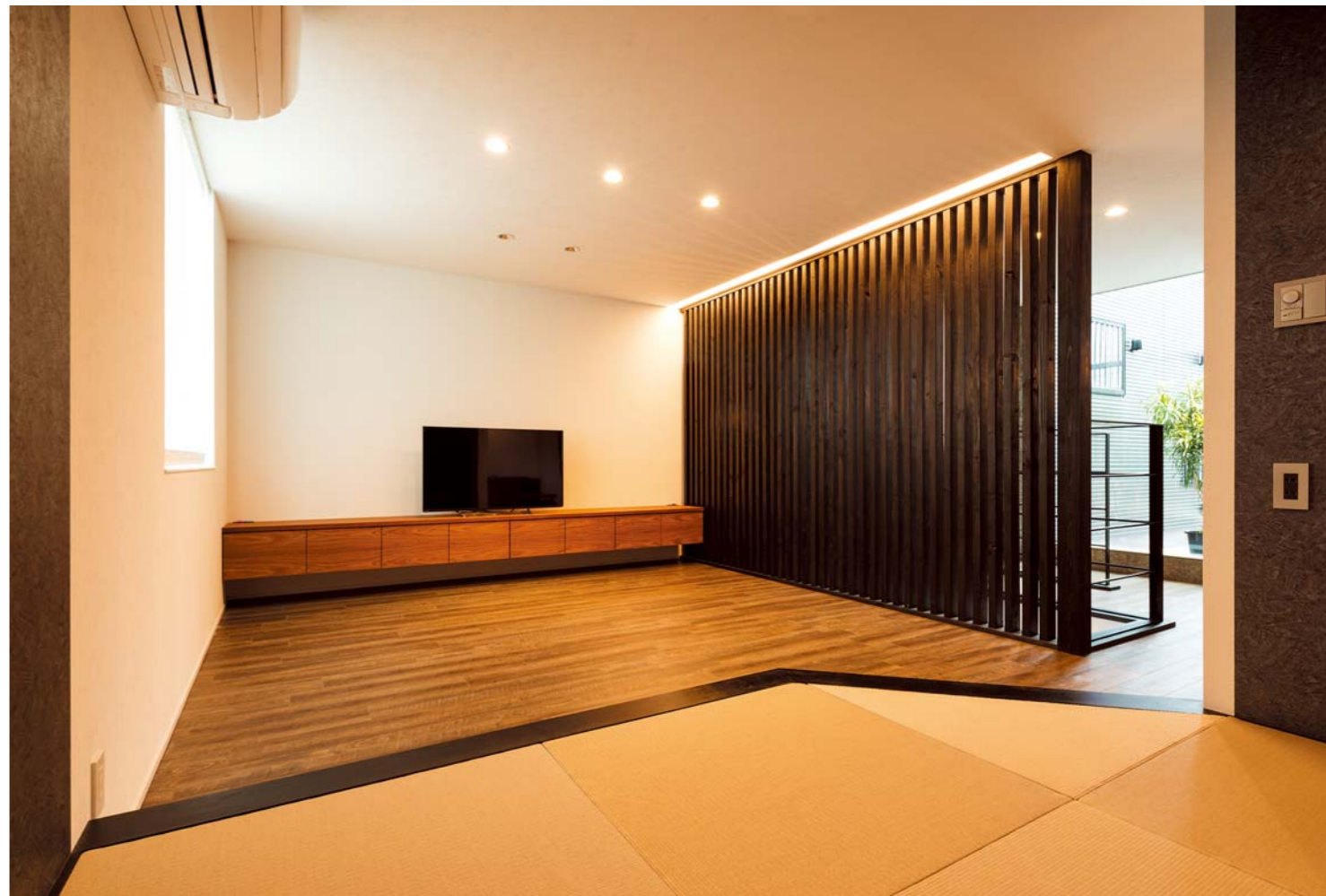


料理好きでキッチンに立つこともあるご主人が「キッチンをメインに、お酒と音楽の似合う空間にしたい」とリクエストしたLDK。床は、アンティークモダンというテーマに沿って店舗などで使うフロアタイルを採用。また壁にあしらった天然石は「アンティークレンガを使いたい」という希望に対して、よりリーズナブルな選択肢として提案された





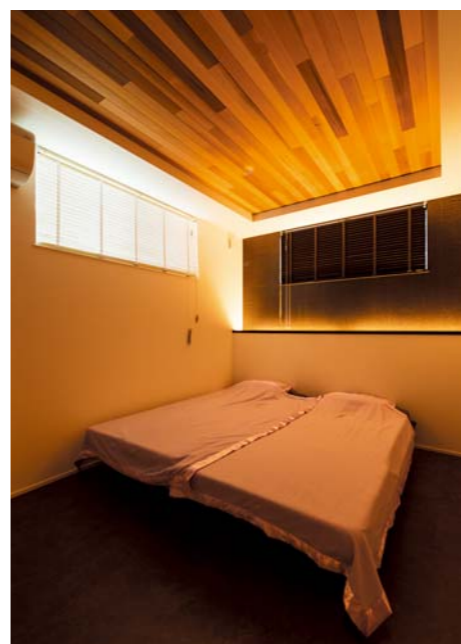
上／キッチンに立つと正面に中庭が広がり、開放感抜群。中庭の向こうには洗面コーナーと浴室があり、お風呂からも庭が眺められる 下／リビングスペースの一角には一段高くして畳のスペースを設けている。壁は下地材の木毛ボードを使用。丸窓がアクセントに



リビングスペースの一角には、一段高とした和室コーナー。階段との間に設けた格子は、ほどよく見え隠れするようにすき間を計算。視線が格子の向こう側へ、中庭へと抜けることで広がりを感じられる。TVボードはオリジナルで製作



ご主人が提案した階段途中の本棚は、座って本が読めるようなベンチを組み込んで造作。「本だけでなく絵も飾りたい」と夢が膨らんでいる



天井に一部、レッドシダーを張って落ち着いた雰囲気仕上げた寝室は1階に。壁には間接照明を仕込んでいるため、陰影も楽しめる



左／白で統一した洗面コーナー。壁面いっぱいに取り付けられた鏡は使いやすく、空間を広く見せる効果も 右／2階のトイレのデザインはご主人担当。ベネチアンガラススタイルを使い、モノトーンの世界に輝きを加えたい



DATA

- 敷地面積／146.22㎡(44.23坪)
- 延床面積／141.22㎡(42.72坪)
- 1階面積／65.04㎡(19.67坪)
- 2階面積／76.18㎡(23.04坪)
- 工法／木造軸組壁工法
- 基礎／ベタ基礎
- 断熱材／アクリア
- 屋根材／ガルバリウム鋼板
- 外装材／ガルバリウム鋼板、窯業系サイディング
- 内装材／クロス、石
- 床材／フロアタイル
- 開口部／断熱サッシ(Low-Eガラス)
- キッチン／TOYO KITCHEN、造作
- バスルーム／バナソニック
- 竣工年月／2014年4月
- 家族構成／夫婦+子ども1人

DETAIL HOME／坂井建設株式会社

〒950-0931 新潟市中央区南長潟12-15
Tel 025-288-5535 Fax 025-288-5536
フリーダイヤル 0120-773-121

詳しい企業情報は「ビルダーズスクエア」をご覧ください。



ケータイからも資料請求できます。資料請求をして頂いた方先着30名様にクオ・カード(500円分)をプレゼント。※詳細は247ページをご覧ください。